



徳衛通信

2024新春号

NO. 93

発行人 河野美枝子
発行所 一般社団法人
徳島県歯科衛生士会
広報部

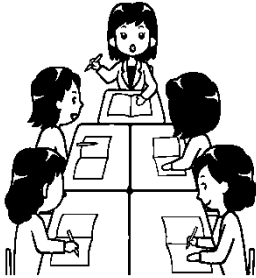
ごあいさつ 会長 河野美枝子

会員の皆様には、日頃より会の運営にご協力とご理解をいただき感謝申し上げます。

2月11日午後から12日夕方まで東京で開催された日衛会長会・歯科衛生推進フォーラムに出席いたしました。日衛吉田直美会長の挨拶の後、令和6年度の事業計画(案)が紹介されました。令和6年度の専門研修や認定研修の日程も決まりました(歯科衛生士だよりに掲載されます)。各5部門の委員会から報告があり最後に石川県歯科衛生士会会長から能登半島での災害支援の状況も紹介されました。道路の状況が悪く通行が難しい中ではありますが、少しずつ歯科医師・歯科衛生士の支援が入っているとのことでした。

全国的に会員減の状況にある中で、吉田会長から「歯科衛生士は専門職、専門職は職能団体に加入するのは当たり前」。他団体の加入率と比較を示され歯科衛生士会の加入率が随分低いことが改めて解りました。その後兵庫県と島根県より会員増に向けての取り組みが紹介され次の分科会では規模が似ている県がグループ分けされ情報交換となりました。

本県でも新卒生の入会が低い状況であり、また退職と同時に退会者もあります。2日目の歯科衛生推進フォーラムでは厚生労働省保健局医療課 歯科医療管理官の小嶺祐子先生から診療報酬、



介護報酬及び障害福祉サービス等報酬の同時改定が行われることで各計画が説明されました。詳細は検討中とのことで明確な数字は示されませんでした。2日間にわたり内容の濃い会議でした。今後は会に反映できるよう努めてまいりたいと思います。

皆様のご協力をよろしくお願いいたします。



活動報告



日本歯周病学会歯科衛生士教育講演に参加して

篠原 浩子

第101回歯科衛生士教育講演会が徳島で開催され、オンラインではない対面での講演会に久しぶりに参加させて頂きました。

『咬合や力に関する知識とアプローチ』荒川 真一先生、『歯周基本治療に活かすスケーリングプロセスとテクニック』荒木 美穂先生が、すごく解りやすく具体的に説明してくださり、臨床にすぐに役立つ内容、盛りだくさんでした。

先生が、おっしゃっていた『歯科衛生士がしっかりと診る目を養うことが何よりも患者さんの幸福につながる。』ことを肝に銘じ、今後も研鑽を積んでいきたいと強く感じました。それとともに、そんな職業につけていく幸せも改めて実感しました。

また、徳島県歯科衛生士会の皆様に、久しぶりにお会いできたのもすごく嬉しかったです。

パワフルな先生方の実りの多いお話が聴け、皆様に再会でき、おかげ様でパワーをたくさん頂いた温かい一日を過ごすことができました。



「小児の摂食嚥下障害とハビリテーション」を受講して

小林美保子



1月14日、有名な水上美樹先生の研修会を受講しました。先生は、歯科衛生士の業務の傍ら多くの著書があり、歯科衛生士会でも活躍されておられます。先生の講演は初めてで、今回久しぶりの対面での研修会となり楽しみにしておりました。

まず内容は、リハビリテーションとハビリテーション(生まれた時から何らかの疾患により、獲得されていない機能を獲得させる事)の違いについて説明があり、ハビリテーションの単語も聞いたことがない私は、勉強不足を実感することばかりでした。

定型発達児の発達過程を深く知り、障害のある子をよく観察し、どの段階まで成長できているのかを見極め、スモールステップの目標を立てていくそうです。

後半には口腔機能発達不全症のトレーニングや低体重児・早産児についての内容もあり、一般開業医勤務の方、母子健診に執務されている方にも身近な内容で、大変有意義な研修会でした。

「徳島県歯科衛生士会

第22回通常総会」開催について

日時 令和6年3月17日(日) 9時30分
場所 徳島県歯科医師会館

同時開催 令和5年度第5回生涯学習(専門研修)

このたびの能登半島地震により、被害に遭われた皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。地震発生より間もなく2か月。被害の全容が明らかになり、被災者を支える懸命な活動が続いています。JDAT徳島として2月18、21日に歯科医師1名と本会より歯科衛生士2名が派遣されました。冬の寒冷地域での支援活動は大変なご苦労だろうと拝察します。

昨年12月10日広島県において中国四国ブロック災害歯科保健歯科衛生士フォーラムが開催されました。ロジスティックス歯科衛生士として、2名の災害歯科保健コーディネーター歯科衛生士とともに参加をさせていただきました。

「発災時の初動対応における連絡体制を考える」とのテーマでディスカッション、アクションカードを作成しブラッシュアップをするという2時間余のグループワークでした。初動対応の連絡ツールとしては、LINE掲示板を活用するのが最も有効であるとのことでした。情報伝達には、文字として残すことが大切ですが、SNSにはフェイクニュースが含まれることがありますので、発信元を確認するなどの注意が必要です。以下は「県内被災想定LINE」アクションカードの一例をお示しします。

① 執行部・理事は、「各自の安否と被災状況を報告せよ」「災害対策本部の設置判断をせよ」「本部立ち上げの場合、初動班は準備せよ」

② 支部長・支部災害対策担当は「まずは自身の安否と被災状況を報告せよ」「会員の安否確認指示が入ったら支部会員に確認せよ」

このワークを通して、平時から連絡の取れる体制を作ることが重要であると痛感します。他県では支部体制があ

り、地域別に災害時安否確認連絡体制が構築されています。本会においては支部体制がないため、例えば県下6保健所の単位でグループ分けをするなど、何らかの方法で連絡体制を整えていくことが急務です。そのうえで定期的に安否テストを行い、活用しながら気付いた問題点などは意見を出し合い、ブラッシュアップしていくようにしたいと思います。また本会では、研修を終えた災害歯科保健歯科衛生士は37名登録されています。発災時は地域の災害歯科保健活動を担う歯科衛生士として、ぜひ会員の皆さまも研修に参加していただきたいと思います。大規模な災害が発生するたびに、私たちも想定される南海トラフ巨大地震への防災意識が高まります。事前(平時)の対策として、皆さまと話し合いながら課題を整理し、よりよいものを構築して参ります。

日本歯科衛生士会生涯研修認定更新の
単位取得ができます。

eラーニング DH-KEN

※詳しくはDH-KENのHPでご確認ください

メールリンク登録のお願い

- *研修会案内をお知らせします
- *災害時の安否確認
- *イベントのスタッフ募集
- *求人情報

登録方法 徳島県歯科衛生士会事務局アドレス
t-dh-a8020@ion.ocn.ne.jp
氏名を記載して送信してください。

ホームページのご紹介

<http://tokushima.jdha.or.jp/index.aspx>

会の動き・関係団体からの研修会の案内等を掲載しています。

◆◆◆徳島県歯科用品同業会◆◆◆

(株)マルミ歯科商店 徳島支店

徳島市南内町 1-43

TEL 088-622-0816(代)

FAX 088-623-5304

たかぎ歯科商店

徳島市住吉 6丁目 6-33-701

TEL 088-622-7456(代)



編集 後 記

令和6年能登半島地震に被災された皆様へ心よりお見舞い申し上げます。

さて、次年度、日本歯科衛生士会では「専門領域別・研究集会」が新たな試みとしてスタートします。日本歯科衛生士学会雑誌(18巻2号)で詳細をご紹介しますので、是非ともご一読ください。

《広報部一同》